

平成23年7月27日

鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然再生の取組
「刈り払いイベントの実施」

7月27日（水）に「土湯の森」における第一回目のイベント、ススキ等の刈り払いを実施しました。参加者は、神室山系の自然を守る会、山ノ内地区会、最上広域森林組合、最上エコポリス自然案内、最上峡案内人協会、最上総合支庁、戸沢村役場、一般市民及び最上支署、ふれあいセンター職員を合わせ25名です。

この刈り払いは平成19年度から、毎年ボランティア団体等の方々の協力により実施しており、今年度で5回目です。

当区域は、広葉樹を中心とした森林の再生を目的としており、現況ではアカマツ、スギ、リョウブ、バッコヤナギのほかイタヤカエデ、クワノキが草の繁茂している中に少々見られます。ブナの稚樹も発見できました。



開会式



真直するスギ

この地はスキー場跡地であり、土壌養分が乏しいこと等から、生育する稚樹の成長は速くありませんが、確実に稚樹の発生が見られ、生長が30 cmに到達する樹木も増えてきています。

刈り払い作業は、下刈鎌と刈払機により実施しましたが、皆さん手慣れているせいか、約0.4haをあっという間に終了することが出来ました。作業終了後は道具の手入れ及び後片付けを行いました。

このボランティアにより地域ぐるみの活動の輪が生まれ、自ら実施することで達成感も生まれました。更に多くの方の参加が得られるよう、声かけの輪を更に広げていきたいと考えております。

また、この地域は一般家庭の水源地としての役割も担っており、将来的には豊富な保水力を持つ森林に回復することを願っています。

最後になりますが、ボランティアに参加された皆様方には暑い中ご協力頂き感謝申し上げます。



刈り払い作業中

